

研究成果展開事業  
ー戦略的イノベーション創出推進プログラムー  
(S-イノベ)

研究開発テーマ  
「高齢社会を豊かにする科学・技術・システムの創成」

追跡評価用資料  
【公開版】

令和5年1月

## 1. 研究開発テーマについて

### 1.1 概要

#### 「高齢社会を豊かにする科学・技術・システムの創成」(平成 22 年度発足)

日本は世界に先駆けて超高齢社会に急速に向かっていますが、現時点で既に全人口の約 25%が 65 歳以上の高齢者で占められており、2055 年にはそれが 40%を超えることが予測されています。そのため、労働者人口の減少、社会保障費の増加に加え、高齢者に社会参画を可能な限り延長することが求められています。しかし、この課題に対してテクノロジーで何を解決することが望まれているかが不明なことから、大学や国の研究機関等の研究は方向性が定まらないままであり、また、マーケットを作り出せなかったことから、産業界でも本格的な取り組みが行えませんでした。

このような背景のもと、本テーマでは、高齢社会における「就業等の支援」と個人の「活動の支援」の両方を実現することを目標とし、横断的で長期にわたる「産学連携」による取り組みを行います。特に高齢者個人が社会活動を行いやすくなるような支援技術を追求します。

その中でも、人間が知的な社会生活を送る上で重要な機能である「感覚」「脳」「運動」と、それらを結ぶ「情報循環」がうまく働かなくなったことを支援する方法を構築します。同様に、コミュニティの中で必要な生活機能である「情報獲得」「コミュニケーション」「移動」と、それらを結ぶ「情報循環」を円滑にすることを支援する方法を構築します。その支援技術として、主に、インターネットに代表されるような ICT（情報コミュニケーション技術）やロボットに代表されるような IRT（情報ロボット技術）を活かす道を確立します。

さらに、高齢化は日本ばかりでなく世界的な傾向にあることから、海外での取り組み等についても常に動向を把握し、本テーマにより創成される新しい技術・システムが将来、輸出産業などにも活かされることを期待しています。

### 1.2 プログラムオフィサー (PO)

伊福部 達 （東京大学 名誉教授）

### 1.3 PO 補佐・アドバイザー

表 1 : PO 補佐・アドバイザー一覧

| 役 割   | 氏 名   | 所 属 (終了時点)                          | 役 職             | 任 期                     |
|-------|-------|-------------------------------------|-----------------|-------------------------|
| PO 補佐 | 秋山 弘子 | 東京大学 名誉教授<br>(一社) 高齢社会共創センター        | センター長           | 平成 22 年 11 月～令和 2 年 3 月 |
| PO 補佐 | 後藤 芳一 | 日本福祉大学 大学院<br>医療・福祉マネジメント研究科、機械振興機構 | 客員教授<br>次長 (兼務) | 平成 22 年 11 月～令和 2 年 3 月 |
| PO 補佐 | 田中 理  | 横浜市総合リハビリテーションセンター                  | 顧問              | 平成 22 年 11 月～平成 23      |

|        |        |                                           |         |                         |
|--------|--------|-------------------------------------------|---------|-------------------------|
|        |        |                                           |         | 年 3 月                   |
| アドバイザー | 板生 清   | 東京大学                                      | 名誉教授    | 平成 22 年 11 月～令和 2 年 3 月 |
| アドバイザー | 清水 孝一  | 早稲田大学 大学院                                 | 教授      | 平成 22 年 11 月～令和 2 年 3 月 |
| アドバイザー | 田中 敏明  | 北海道科学大学 保健医療学部                            | 教授      | 平成 22 年 11 月～令和 2 年 3 月 |
| アドバイザー | 土井 美和子 | 国立研究開発法人情報通信研究機構                          | 監事      | 平成 22 年 11 月～令和 2 年 3 月 |
| アドバイザー | 正木 信夫  | 株 式 会 社<br>ATR-promotions<br>脳活動イメージングセンタ | センタ長    | 平成 22 年 11 月～令和 2 年 3 月 |
| アドバイザー | 三澤 裕   | 一般社団法人 日本医療機器テクノロジー協会                     | 専務理事    | 平成 22 年 11 月～令和 2 年 3 月 |
| アドバイザー | 吉村 洋   | 東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社                       | 代表取締役社長 | 平成 22 年 11 月～令和 2 年 3 月 |

## 1.4 追跡調査対象課題

表 2：採択課題一覧

| 実施<br>期間                              | 開発リーダー／研究リーダー<br>(研究開発終了時)<br>※下線はプロジェクトマネージャー                                                  | 研究開発課題名                                                      |
|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 平成<br>21 年<br>度<br>～<br>令和<br>元年<br>度 | 大中 慎一<br>日本電気株式会社 プラットフォームソリューション事業部 エキスパート<br><u>井上 剛伸</u><br>国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 部長 | 高齢者の記憶と認知機能低下に対する生活支援ロボットシステムの開発<br>略称：支援ロボット                |
|                                       | 遠藤 照昌<br>トヨタ自動車株式会社 先進車両技術開発部<br><u>井上 秀雄</u><br>神奈川工科大学 創造工学部 自動車システム開発工学科 教授                  | 高齢者の自立を支援し安全安心社会を実現する自律運転知能システム<br>略称：自律運転                   |
|                                       | 小林 正朋<br>日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所 アクセシビリティ&ヘルスケア高齢社会工学<br><u>廣瀬 通孝</u><br>東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授    | 高齢者の経験・知識・技能を社会の推進力とするための ICT 基盤「高齢者クラウド」の研究開発<br>略称：高齢者クラウド |

## 2. 追跡調査の概要

令和元年度終了 3 課題の参画機関を対象に、完了報告書に記載された「今後実用化・事業化を目指す製品群・サービス群」について、課題終了後の進展等を尋ねる調査票を送付。

令和 4 年 2 月 7 日～3 月 14 日に調査を実施し、3 課題 8 機関から回答を得た。

## 3. 追跡調査結果

調査に回答のあった 3 課題（製品群 3 件）の全ての課題、製品群で研究開発は継続されている。S-イノベ終了後の研究開発資金としては、企業の自己資金のほか、JST や NEDO の競争的研究費、自治体の公的資金等が活用されている。

派生的な研究を含め研究開発を企業内で継続中の 3 件のうち、研究開発資金・人員とも十分との回答が 2 件、回答なしが 1 件であった。

新型コロナウイルスの影響については、回答があった 3 課題 8 機関のうち、4 機関は多少の影響があったとの回答であった。

以上